

メキシコ（フロンテリソ鉱区）でのガス開発事業の落札について

平成 15 年 11 月 20 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社 東京都渋谷区、社長 磯野 啓）はメキシコでのガス開発に関する公開入札に参加し、先に落札した **Cuervito**（クエルビト）鉱区に続き、現地時間 11 月 19 日にメキシコ北東部に位置するブルゴス地域の **Fronterizo**（フロンテリソ）鉱区におけるガス開発サービス事業の落札にも成功致しました。

メキシコでは石油・ガスの探鉱・開発事業は **PEMEX**（メキシコ国営石油会社）のみによって行われていますが、天然ガス生産量の増大を図るべく 10 月より一連の国際入札が行われています。

今回落札した **Fronterizo** 鉱区は面積 231km² で、鉱区内には 4 ガス田が既に発見されており、そのなかで **Topo**（トポ）が主力のガス田となっています。締結する契約は天然ガスの開発に関するサービス契約(**Multiple Service Contract**、**MSC**)で、15 年間で 2 億 6 千 5 百万ドルまでの投資枠のなかで本鉱区の再開発を行う予定であります。事業パートナーや参加比率は **Cuervito** 鉱区と同様で、**Petrobras** 社（ブラジル）45%、当社 40%、**D&S** 社（メキシコ）15%です。

本鉱区は **Cuervito** 鉱区と隣接しており、地質・地理的に連続していることから統一的に事業遂行が図られると期待されます。

尚、**Cuervito** 鉱区を含めた本メキシコ事業の推進に際し、当社はメキシコ現地法人を設立致しました。同法人の運営にあたっては、日揮株式会社（本社 神奈川県横浜市、社長 森本省治）が資本参加し、共同で本事業に参加する予定です。

以上

フロンテリソ鉱区位置図

